

授業概要

小学校における英語も踏まえ、中学校と高等学校の一連の流れにおいて、日本の英語科教職課程の全体像を対象にし、英語の授業がどのような理論や指導法、教師の指導力に支えられているのかについて講義する。また、世界における英語の位置付け、第二言語（外国語）習得論の基礎的な内容、伝統的教授法やコミュニケーション能力育成を重視した教授法について講義する。更に、ICT活用を考慮しつつ、現場の教師による授業の視聴や学生自身が生徒の立場で指導法を体験することを通して、指導の在り方や授業の進め方を体験的に指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	世界の中の英語（１）：世界の英語
第 3 回	世界の中の英語（２）：英語の広がり
第 4 回	世界の中の英語（３）：英語の多様性
第 5 回	世界の中の英語（４）：日本の英語教育
第 6 回	第二言語習得（１）：言語習得とは
第 7 回	第二言語習得（２）：理論と仮説
第 8 回	第二言語習得（３）：第二言語能力
第 9 回	第二言語習得（４）：理論上の諸問題
第 10 回	外国語教授法（１）：伝統的教授法
第 11 回	外国語教授法（２）：コミュニケーションを中心としたアプローチ
第 12 回	外国語教授法（３）：タスク・内容重視の教授法
第 13 回	外国語教授法（４）：様々な教授法
第 14 回	まとめ（１）：外国語（英語）教育の目的と意義
第 15 回	まとめ（２）：小学校・中学校・高等学校を通じた英語教育の在り方
第 16 回	レポートまたは課題

到達目標

- ① 世界的な視野から英語教育の在り方の基本について理解することができる。
- ② 第二言語（外国語）習得のプロセスについて基礎的な内容を理解することができる。
- ③ 外国語教授法を基にして、英語による授業展開の方法について理解することができる。

履修上の注意

外国語（英語）教職課程希望の履修者が望ましい。
「英語科教育法Ⅱ」を同時に履修することが望ましい。

予習・復習

- ① 授業で気付いたこと、学んだことを振り返り、記録をつける。
- ② 次の授業に備えて与えられた課題を行う。
- ③ 自己の英語語彙力や文法知識を充実させるための学習を行う。
- ④ 専門としたい英語学の分野を見定め、その知識を広く深く得られるための学習を行う。

評価方法

レポート・課題（４０％）、発表（３０％）、授業態度（３０％）

テキスト

- ・教科書名：『新・グローバル時代の英語教育』
- ・著者名：岡秀夫他
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年（ISBN）：2020年（9784791972180）